

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	行政情報課	室・部・局	財務部	予算事業コード	102540
-----	-------	-------	-----	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市有線放送施設事業譲渡補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	関市有線放送施設事業譲渡契約			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	シーシーエヌ株式会社			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	シーシーエヌ株式会社				に対して
	手段	有線放送事業に対する補助				を行うことで
	受益者	上之保地域の住民				が(を)
	意図	継続して有線放送とインターネットを利用できる				という状態にする
⑥期間	R2年8月31日～		R16年3月31日		補助・負担開始年度	令和2年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他()
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	12,100	12,100	12,100	単価を定めている→算式	
					○	定額補助・負担
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適切	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている	有線放送、インターネットの利用率向上
	交付先の事業成果は向上しているか	している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	休止・廃止はできない	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	有線放送、インターネットの利用率向上が課題			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	行政情報課	室・部・局	財務部	予算事業コード	107100
-----	-------	-------	-----	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市統計協会				補助金の分類	<input type="radio"/> (1) 一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠					関市補助金等交付規則		<input type="radio"/> (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3) 一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先					関市統計協会		<input type="radio"/> (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5) 個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担					○なし		<input type="radio"/> (6) その他
国の負担あり					負担割合	負担額	千円	
県の負担あり		負担割合	負担額	千円				
⑤支出の目的	対象	登録調査員で構成された市統計協会員				に対して		
	手段	統計に関する研修会、会員相互の交流など				を行うことで		
	受益者	統計調査員の資質				が(を)		
	意図	向上させる				という状態にする		
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和	50 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 ()					
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	221	54	115	250	単価を定めている→算式	
	<input type="radio"/> 定額補助・負担		<input type="radio"/> その他 ()			
②過去における見直し状況	平成13年度に一律5%削減として、174,000円から166,500円へ、平成18年度に一律15%削減として142,000円へ、平成19年度に一律5%削減として135,000円、平成28年度から公用バスに替わり民間バスを視察に借上げるため予算増額した。					
③支出先の決算状況	R3歳入決算額	501 千円	R3歳出決算額	323 千円	翌年度繰越額	178 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		23.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	調査員の資質低下の恐れがある

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	統計調査の内容が複雑化し、また対象者からも調査協力が得づらくなってきているなど、調査環境が厳しさを増している中で、統計調査員の確保難はさらに度を強めている。登録調査員の高齢化問題もあり、調査力の向上を図るとともに新規会員(調査員)の確保にも努める必要がある。		